

の陳氏 り組む



やまなし大使の任命状を受け取る陳武聰代表(右)
県庁

企業と共同で、県内でホテル事業も展開している。陳代表は、事業活動を通じて台湾の行政関係者らとのつながりもあり、後藤斎知事の7月の台

協力したという。この日は陳代表が県庁を訪問。後藤知事がやまなし大使の任命状を手渡した。陳代表は「山梨県と台湾の交流の発



11日から解体工事が始まる富士



救急車の適正直売所で呼び



迎久須志神社内からごみを回収する参加者



迎久須志神社(写真奥)からごみを回収して引き揚げる参加者
いづれも富士山9合目



富士山9合目の迎久須志神社内に大量のごみが捨てられていることが分かり、登山ガイド有志でつくる「ヨシダトレイルクラブ」(太田安彦代表理事)が4日、清掃活動をして約90kgを回収した。神社は吉田口登山道沿いにあり、破損した壁などからごみが捨てられたとみられる。同団体は、行政などと連携しながら登山者のマナー向上を目指すことにしている。

〈清水一士〉

富士山 9合目神社に大量ごみ

登山者投棄か ガイドら清掃

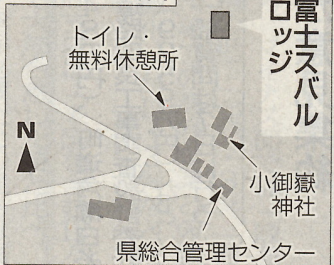
神社は山頂から約2000m下った登山道脇にある。富士浅間神社(静岡県小山市須走)が管理しているが、手が行き届かなくなり、現在は壁が破損し屋根の一部が落ちるなどしている。再建を検討したものの、資金面などがネックと

なり、復旧のめどは立っていないという。これまでも破損した箇所からごみが投げ込まれるケースがあり、今年は8月中旬ごろに外国人とみられる人々が神社内に入ったり、周辺にテントを張ったりしているのをガイドが目撃して注意したという。「ごみは、既にごみのある場所に捨てられる傾向

にある。マナーの悪い登山者が後に続くことで増えていった」(太田代表理事)とみられる。ヨシダトレイルクラブは富士山の登山環境の改善などに取り組んでおり、登山ガイドや山小屋関係者らに清掃活動を呼び掛け、約10人が参加した。ごみばさみでペットボトルや雨がっぱなどのごみ

を拾い、約90kgを回収した。再びごみが捨てられないよう、破損した屋根や壁にロープを張るなどした。太田代表理事は「今年のごみは今年中に回収したい」と思い清掃したが、想像を超える量だった。登山者のマナーアップのために、山梨、静岡両県の関係団体に働き掛けた」と話している。

富士山5合目



5合目県施設

スバルロッジ解体へ

老朽化で 展望園地に活用

県は11日から、富士山5合目にある県の休憩施設「富士スバルロッジ」の解体工事に着手する。建設から50年以上

たつて壁が崩れるなど老朽化しており、近年は閉鎖されたままとなっていることから、更地に戻して跡地を展望園地

として活用する。県観光資源課によると、ロッジは地上2階、地下1階建てで、総面積は約1075平方m。工事は富士山が10日に閉山した後の11日から始め、まずは内部の壁や天井、配管設備などを取り壊して搬出する。冬季は積雪で作業ができなくなるため11月15日といったん終え、来春に富士山有料道路(富士スバルライン)が開通した後で再開し、来年度に完了する予定。

更地に戻した後は、2016年3月に定めた

「動く新聞」の説明



山梨日日新聞の「動く新聞」(AR=

富士山4、5合目盛り込んだグラン(全体構想)に展望園地として活用富士スバルロッジ4年の富士スバルに合せて観光客施設として開業。